首都大学東京
TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

# 可視化処理入門・実践セミナー

## ParaView による 2D/3D 可視化の基礎

**日時** 12/26( 月 ), 12/27( 火 ) 午後
**場所** CAL 室＠日野キャンパス

数値シミュレーションや測定・実験などで得られた結果を「どのように可視化する」か，という問題は多くの研究分野において共通のとても重要な問題です．例えるなら，得られたデータが食材とすれば，可視化法は料理方法と言えます．どんなにおいしい食材も，その料理の仕方次第で，美味しくも不味くもなるように，可視化方法の良し悪しが与える影響は決して少なくありません．可視化方法を改良したことで，それまで想像もしなかった知見に気付いたり，現象が見事に把握できたりすることも多くあります．

特に，計算機の性能が著しく向上した現在では，３次元のボリュームデータなど大量のデータを直接取り扱えるようにもなってきており，『２次元・３次元データをどう効果的に可視化するか』は必ず必要な技術と言えます．

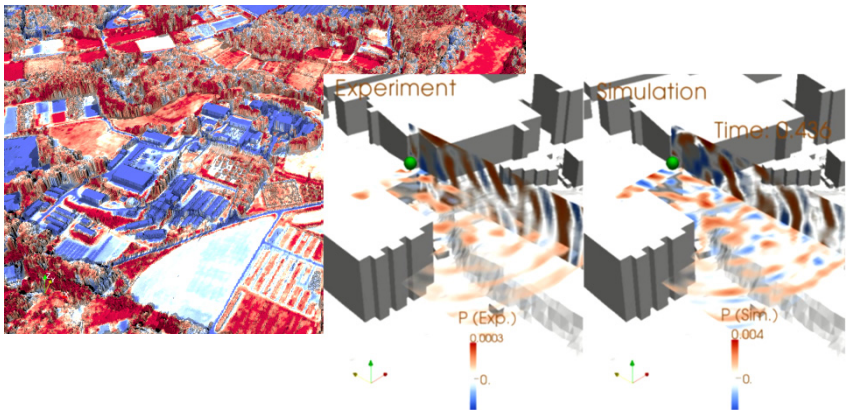
さて，ParaViewはVTK（Visualization tool kit）を基盤とするオープンソースの可視化ソフトウェアです．多機能で様々な可視化方法が利用でき，かつ導入も比較的容易であり，すなわち入門者から上級者まで様々な用途で利用できる拡張性が高いソフトウェアと言えます．

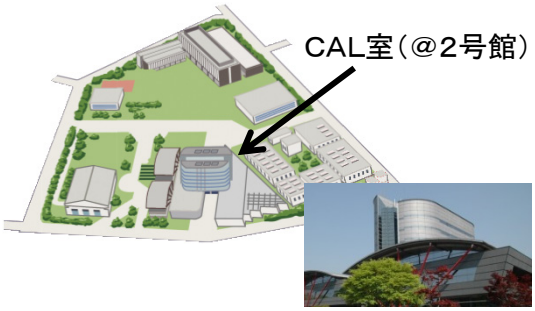
そこで，今回は可視化処理入門・実践セミナーと題し，ParaViewによる2D/3D可視化の基礎を実践演習（ハンズオン）形式で開講します．幅広い分野からの大学院生・学部生の皆さまの参加をお待ちしております．

| | |
|---|---|
| 開催日： | 2016年12月26日(月) 13:30-16:40，12月27日(火) 13:30-16:40 |
| 会場： | 演習室　２号館５０４室（CAL室）@日野キャンパス |
| 申し込み・問合せ先： | 大久保寛（システムデザイン学部 情報通信システム，kanne@tmu.ac.jp） |
| 注意： | 参加を希望する場合は，必ず事前に上記メールアドレスまで申し込みください．<br>ハンズオンセミナーのため，２０名先着順にて締め切らせて頂きます．<br>件名を「可視化処理入門実践セミナー申込み」としてください． |

| セミナー・スケジュール（予定） | |
|---|---|
| Class 1 | ParaViewを使ってみよう（90分） |
| Class 2 | データ･ファイルの作成とアニメーション（90分） |
| Class 3 | ParaViewによるデータ分析（90分） |
| Class 4 | ParaViewによる可視化応用（90分） |
| 講師： | 大嶋拓也准教授 |
| 略歴： | 東京大学大学院工学系研究科博士課程中退，博士(環境学)．現在，新潟大学工学部建設学科准教授．一般社団法人オープンCAE学会理事･監事を歴任．専門は都市環境音響学，特に音響数値シミュレーション．ParaView/VTK，VisIt，Gmsh，OpenFOAM，SciPyなどへのコントリビュート多数． |

主催：　首都大学東京･教育改革推進事業「高性能計算科学を基盤とする情報処理の実践教育」
共催：　ミニ研究環「超並列化が拓く他分野融合計算科学の新描像」，システムデザイン学部情報通信システムコース




日野キャンパス内マップ